



宮崎中学校区 地域教育会議だより

令和6年3月5日
発行：宮崎中学校区地域教育会議

議長：近藤 宣雄

第61号



第20回 宮崎中フェスティバル&あったかまつり

2023年11月3日、地域教育会議とPTA共催で「宮崎中フェスティバル&あったかまつり」が開催されました。コロナ禍以前よりも時間も短縮し、出店内容を変更しての開催でした。

体験ブースは段ボールビンゴ、缶積み、輪投げ、スリッパ飛ばし、キックターゲット、フリースロー、それぞれのブースを回るスタンプラリー、バザーや野菜、お花の販売もありました。

当日はたくさんの親子連れの方や小学生が友達同士で来てくださり、保護者の方々も恥ずかしがりながらも童心に戻って楽しんでおられる姿が印象的でした。

各ブースには、宮崎中学生たちもボランティアとして参加してくれました。

参加してくれた生徒の皆さん積極的にお客さんに声をかけて呼び込みをしてくれたり、小さい子たちに優しく声をかけていたり、生徒たちの活躍と学校関係者の皆さまの協力なくてはおまつりの成功はなかったと思います。参加して下さった皆様、関わって下さった皆様、本当にありがとうございます。



地域教育会議議長のごあいさつ



近藤 宣雄

コロナで中断していた「あったかまつり」を一昨年より形を変えて再開し、今回節目の20回目を無事に終える事ができました。40代で初めて携わってからあつという間でした！今振り返ると様々な思い出が！最初の頃は人手が足りず1日中走り回り総歩数は3万歩、また、あったかまつりとは名ばかりの極寒の日や、強風で前日用意したテントが飛ばされたこともありましたが、「雨天での開催は1度だけ」が誇りです！子供たちが大人になった時「子供の頃あったかまつりってあったなー」となれば、やった甲斐があったと思います。これからも地域、学校、諸団体の皆さんと力を合わせて子供たちの記憶に残るお祭りを！身体の続く限りがんばります！

追記 私の職場に来たバイト学生が梶小宮中出身であったかまつりに出演したことがあるそうです！嘘のような本当の話です。

第20回



宮崎中フェスティバル & あったかまつり

令和5年11月3日(金・祝)

縁日



バザー



わなげ



吹奏楽



キックターゲット



スリッパ飛ばし



段ボールビンゴ



フリースロー



空缶積み





宮崎小学校 4 年生の発表「宮崎の住みやすい良さ」
4 年生の演技は 1 人 3 枚パネルを作って パネルシアターをしました。
宮崎の街の良さを色々な方に伝えるため、いい所や工夫されている
所を探して見つけ、体が不自由な方、お年寄りの方、外国人の方も
住みやすい街になっている。そんな素敵な街をパネルにし、劇にして
再現しました。歌は耳が不自由な方にも伝わるように 手話も取り
入れて披露しました！



4 年生の式典感想
みんなで一致団結して毎日練習したので
素敵な式典にすることができました。
見てくれた皆さんありがとうございました。
改めて宮小 150 周年おめでとう！ 宮小だいすきー！



3 年生は太鼓、お神輿、ししまい、まとい、リコーダー、
ちゃんちきを使って祭りをテーマにした演目を披露しました。
「緊張したけど、練習の成果が出せました。お客さんの
楽しそうな反応がうれしかったです！」



1873 年に、野川と梶ヶ谷の 2 村合同で現在の宮崎小学校が創立されました。
その頃はまだ校舎がなかったので、近くの泉福寺を仮校舎として勉強していました。
そして 2023 年に創立 150 周年を迎え、12 月 2 日に記念式典が挙行されました。
子供たちは学年ごとに息の合った演技を張り切って披露しました。



宮小正門の横の壁には、地域の方達のご協力のもとつくられた
150 周年記念の横断幕が掛けられています。
前を通った際にぜひ見てみてください！



親子で宮小！



12 月 2 日の午後からは 学校、
地域の関係者の方々が集まり
150 周年の祝賀会が行われ
ました。
祝賀会の最後には集まった
方々全員で 宮崎小学校の
校歌を歌いました。



地域を代表して、馬絹町内会長の目代鉄男さんにお話を伺いました

宮崎小学校の思い出を今さかのぼると 6 0 数年前のことになりますが、できる限り当時の記憶を辿ってみましょう。
当時は南側に校舎はなく今も名残りをとどめている楠の木の大木があり、夏に涼しさを提供してくれていました。
校舎は北側、平屋中心でした。
東には講堂、その南側に 1 5 m プールがありました。
そんな環境の中、様々な楽しい、学校行事が心に残ります。
白足袋の春、秋の運動会、講堂での映画会や学芸会など、もっとも楽しみにしていました。
その他、夏休みの野外映画会もありましたね。
様々な遠足や相模湖バンガロー宿泊、箱根林間学校等思い出深い行事だったように思っています。
まだまだ沢山の思い出がありますがキリがありません。
宮崎小学校創立 1 5 0 周年を迎えられることおめでとうございます。
伝統ある宮崎小学校の今後の発展を祈念いたします。
一卒業生としての在校当時の記憶を辿ってみました。

宮崎小学校 150 周年記念事業実行委員会

実行委員長 斎藤 欽一

150周年記念事業について…この度、宮崎会の会長として、150周年記念事業の実行委員長という大役をやらせていただき、大変光栄に思っております。まず初めに何をやるか？これについては児童や保護者、また先生方等、たくさんの関係者より案件を出していただき、実行委員会で話し合いを重ねました。岩石園は、創立100周年の時に作られました。以後50年間、何もメンテナンスを行っていませんでした。ひびが出てきたり、穴があいたり、危険を伴うので「使用禁止」になっておりました。ふれあい館は、120周年記念事業で作られたものです。こちらも薄暗く、埃だらけで、使える状態ではなかったと思います。せっかく周年事業として作った設備、これからも子供たちにどんどん活用してほしいという思いを込めて、この2つの事業は行うことにしました。その他に、「古くなった学校旗の新規作成」「語らいの森の妖精・かたるんというキャラクター作成」「校舎の南側に新しい時計を寄贈」を行いました。

【ふれあい館】今回は昔の道具を整理整頓して展示し直し、電気をLEDライトに変え、畳を取り換えて、とても明るくきれいになり、授業でも気持ちよく使えるようになりました。

【岩石園】こちらは子供たちに大人気の場所です。実行委員会は令和4年4月に発足され、12月に予算案が可決、それぞれ事業を開始する予定でした。ただ、児童の150周年実行委員会には当時の6年生も含まれていることもあり、早く子供たちに使わせたいという思いがありました。実行委員会の皆様も快く承諾してくださり、昨年の秋に完成、お披露目式が開かれました。その年の3月に卒業した児童たちも使用することができました。2年に一度メンテナンスをするということで、予算を組んでいただきましたが、令和5年9月ごろ確認したところ、色もかなり褪せ、落ち葉がすごく滑りやすくなっておりました。そこで式典の前にきれいにしようと、掃除・塗り替えをしました。2年ごとのメンテナンスを毎年9月末ごろに行うことを学校側と決めさせていただきました。岩石園の工事を請け負ってくださった業者は、宮崎小学校の卒業生で、お願いの電話を入れると「岩石園かぁ！懐かしいなぁ！いいよ、やるよ！」「岩石園、よく遊んだよ！了解！」と儲け無しで（もしかすると赤字？）工事していただきました。

【最後に「東西南北」の文字を書いた岩石園担当の実行委員の方の話】岩石園は本当に子供たちに大人気で、文字を書いていると子供たちが寄ってきて「何やってんの？」「この漢字読めるよ！」「においエグイ！」等々、子供たちとおしゃべりしながら楽しく文字書きができました。通りかかった子供たちや保護者の皆様、先生方皆さんが「どうもありがとうございます。」と声をかけてくれましたが、自分の書いた文字がお山に残って、みんなが見てくれると思うと感激です！こちらこそ岩石園の担当をやらせていただき、ありがとうございました。現在、岩石園は危険！と取り扱う小学校が増えております。そのようなことが起きないよう、使用方法には十分注意して、長く使っていただけなら幸いです。

西梶ヶ谷小学校 40周年

西梶ヶ谷小学校は2023年で40周年を迎えました

11月11日には40周年の式典が行われました。オープニングでは地域で活躍されている「大塚太鼓」さんの演奏と6年生のロックソーランで始まり、フィナーレには「川崎市消防音楽隊」の方々に校歌を演奏していただき全員合唱で式典を閉じました。



○記念品

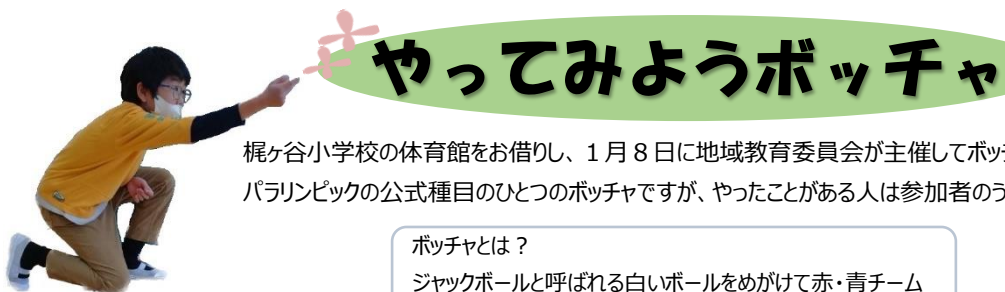
左上から

- ①トートバック
- ②副読本
- ③わかくさん飴
- ④クリアファイル
- ⑤記念誌
- ⑥タオル

西梶ヶ谷小学校記念式典 11月11日

オープニングは、地域で活動されている「大塚太鼓」さんの演奏と6年生の「ロックソーラン」で華やかに始まりました。その後、実行委員長の大竹正晃様（紫陽花の会）より記念品として音楽室専用の学習机の目録をいただき、学校からは感謝状を地域の皆様にお渡しさせていただきました。また、子供たちから学校への誕生日プレゼントとして、歌や踊りなどを披露しました。

フィナーレは、川崎市消防音楽隊にプラスバンドで校歌を演奏していただき、全員合唱で式典を閉じました。



梶ヶ谷小学校の体育館をお借りし、1月8日に地域教育委員会が主催してボッチャの体験教室が開かれました。パラリンピックの公式種目のひとつのボッチャですが、やったことがある人は参加者のうち9名と少数派でした。

ボッチャとは？

ジャックボールと呼ばれる白いボールをめがけて赤・青チームそれぞれ6球ずつのボールを投げたり転がしたりして、どちらがより近くに寄せられるかを競うものです。



青少年の家の職員さんが講師を務めてくださいました



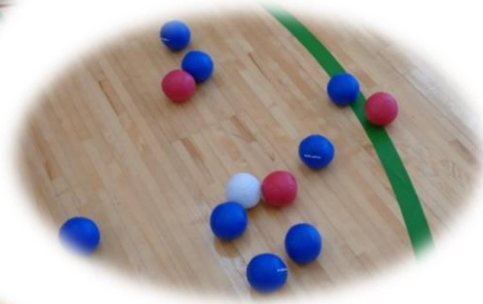
説明を真剣に聞く子供たち



念入りにチェック！



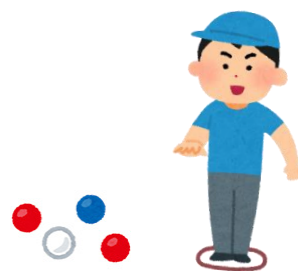
勝負はミリ単位！！



まさかの引き分け。珍しい



どっちが勝ったか、みんなで確認中



小学生から50代まで40名以上が参加したボッチャ体験企画。老若男女問わず、運動が得意な人も不得意な人も同様に楽しめ、参加者が自然に笑顔になっていくのが印象的でした。

実施したアンケートからは、とても楽しかったので他にもボッチャをやる場所があるといいのという声や、今回のような気軽に参加できていろいろな世代と交流できるイベントをもっと開催してほしいという声も聞かれました。また、今年はオリンピックイヤーということもあってか、今度は車いすバスケやブラインドサッカーを体験してみたいという人もいました。

地域の方々と楽しく交流できたひとときでした。



ぼうさい出前講座

地域教育委員会

本年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震と、それに伴う津波や火災等により、数多くの尊い命が失われました。
今もなお避難を余儀なくされている方々をはじめ被災地の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



2 月 3 日(土)、宮前区役所危機管理担当の方をお招きして宮崎中学校をお借りして、
ぼうさい出前講座が開催されました。

防災について行政機関が行っていることの説明や、ひとつの問題に対し自分だったらどう行動
するかを想像して意見交換をするクロスロードゲームを数人のグループに分かれておこないました。

例えば災害時、子供を学校に迎えに行く途中で生き埋めになっている人を見つけたら、子供
より先にその人を助けるか否か。避難所において周囲には食料を持っていない人がいる中で持参
の水や食料の入った持ち出し袋を開けるか否か。

どれもその場でとっさに選択できなさそうなシチュエーションばかりで、どちらの意見にもうなずける
ものがありました。平时にこのようにシミュレーションしておくことで、いざというときに迷わず決断できる
ようになるかもしれません。

また担当者の説明によると、避難所に避難することも大事ですが、今は可能な限り在宅避難が
推奨されているそうです。その場合は、一時避難所の名簿に登録すれば、自治体からの食料や
物資を確保してもらえるようになったということです。

突然起こる地震・災害から命を守るためにあらかじめ物資を備えておくのはもちろん、地域の住
民同士で普段から交流があると、災害時お互いに助け合ったり安否確認ができます。水、腐り
にくい食糧、簡易トイレなどを各自で準備して、日ごろから声をかけあい、災害時には互助の精神
で乗り越えていく大切さに改めて気づかされる講座となりました。



川崎市防災ポータルサイトでは、避難情報や各種防災マップを見ることができます。
また、こちらで紹介されているメールニュースや防災アプリ、公式 X(旧 Twitter)、
公式 LINE などに登録しておく、リアルタイムで防災情報が届きます。
<https://portal.kikikanri.city.kawasaki.jp>



今後の予定



宮崎中学校	卒業式	3月12日(火)
宮崎小学校	卒業式	3月19日(火)
梶ヶ谷小学校	卒業式	3月19日(火)
西梶ヶ谷小学校	卒業式	3月16日(土)

編集後記

今年度はコロナ禍から一歩踏み出し、様々なイベントが賑やかに開
催されました。参加した子どもたちの笑顔が印象的でした。

一方、元日に起きた能登半島地震により、防災に対する意識が高
まっています。非常用持ち出し袋の中身を確認するなどして、いざという
きのために備えておきましょう。

◆ ご意見・ご感想をお寄せください ◆

事務局連絡先：〒216-0033
川崎市宮前区宮崎107番地 川崎市立宮崎中学校内
宮崎中学校区地域教育会議事務局
☎ 044(866)3372
宮崎中学校区 地域教育会議ホームページ：
<https://miyazakicityou.wixsite.com/1998>



◆ 住民委員を募集しています ◆

地域教育会議では地域にお住いの方々より
年齢を問わず広く住民委員を募集しています。
子どもから大人まで住みよい地域づくりのために
お力を貸して下さる方、ぜひ事務局までご連絡ください。
お待ちしております。



宮崎中学校区地域教育会議とは

川崎市教育委員会、川崎市地域教育会議推進協議会の委託事業で、宮崎中学校区の「市民が自らの責任として
教育を行うための自主的・民主的組織」で、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として平成 10 年に発足しました。



川崎市教育委員会ホームページ：<https://www.city.kawasaki.jp/880/category/10-16-0-0-0-0-0-0-0-0.html>